



こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2022年
3月

2022年3月31日

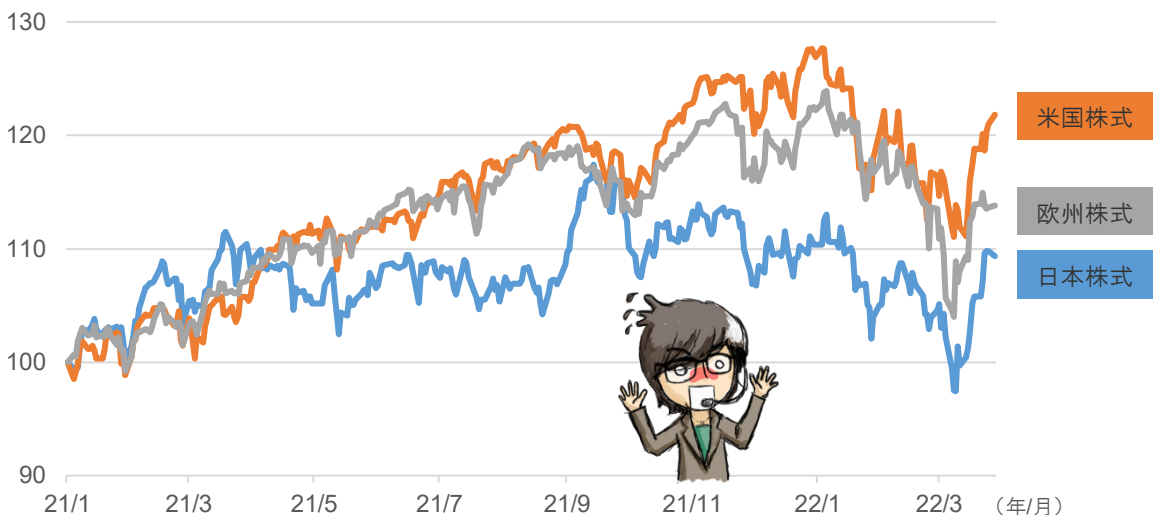
Vol
158

不安だから減額する？ 落ち着くまで停止する？ 投信積立のポイントは、止めずに続けることです。

2022年に入り、米国の超緩和的な金融政策の正常化が前倒しされるとの観測が広がったことやウクライナ情勢の緊迫化などを受けて、マーケットは調整色を強めています。とくに2月から3月にかけて、短期間で大きく下落したこともあり、ご不安に思われた方も少なくなかったのではないのでしょうか。主要国の株価指数の推移を見ると、徐々に落ち着きを取り戻しつつあるようですが、大きな変動を伴う局面はまだあるかもしれません。

コールセンターには連日さまざまなご質問が寄せられますが、足元で「まだ下がるかもしれないし、積立額を減額した方がいいか」、「落ち着くまで積立を一旦停止すべきか」といった、投信積立に関するものが増えています。そこで今回は、あらためて投信積立について整理してみたいと思います。

■ 日米欧の主要株価指数の推移(期間:2021年1月1日~2022年3月28日)



株価指数はグラフ起点を100として指数化
米国株式:S&P500種、欧州株式:STOXX欧州600指数、日本株式:TOPIX(東証株価指数)(いずれも現地通貨ベース)
※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

こよみ



コールセンターからの、小さなよみもの



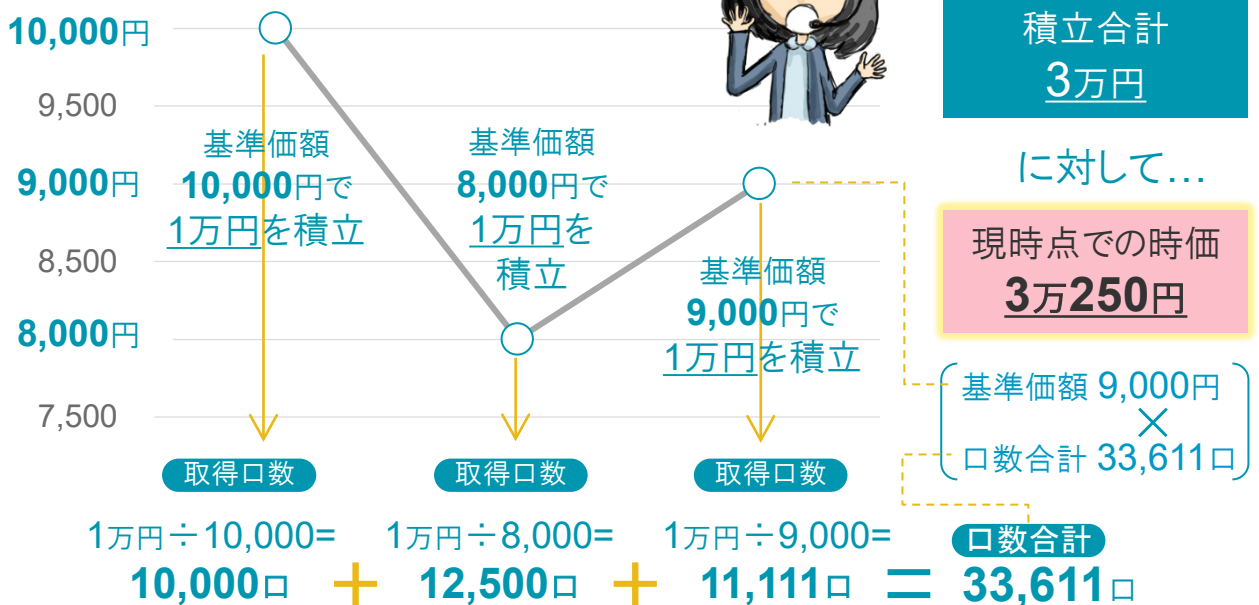
2022年
3月

投信積立の不思議のクツ

まず下のグラフ、「投信積立の不思議」をご覧ください。積立開始時と比べて、基準価額はマイナス(10,000円→9,000円)なのに、時価評価額はプラス(30,000円→30,250円)になっていることに驚きませんか。

毎月コツコツと同金額ずつ投資信託を買い増していく、投信積立。投資信託は口数で買付けるので、毎月同金額の積立てを続けた場合、基準価額が高いときには少ない口数を、安いときには多くの口数を取得します。もちろん、「下がって口数が増えたあとに上がっていること」がポイントなのですが、投信積立はある意味で、「下がっても嬉しい仕組み」だと言うことができそうです。ですから、大きく下落した局面で、マーケットの先行きが不安だからと、積立額を減額したり、投信積立そのものを止めてしまうことは、オススメできません。

●投信積立の不思議



※基準価額は1万円当たりで表示する慣習があるため、取得口数を求める際には最後に10,000を掛けます。※手数料等を考慮していません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

こよみ



コールセンターからの、小さなよみもの



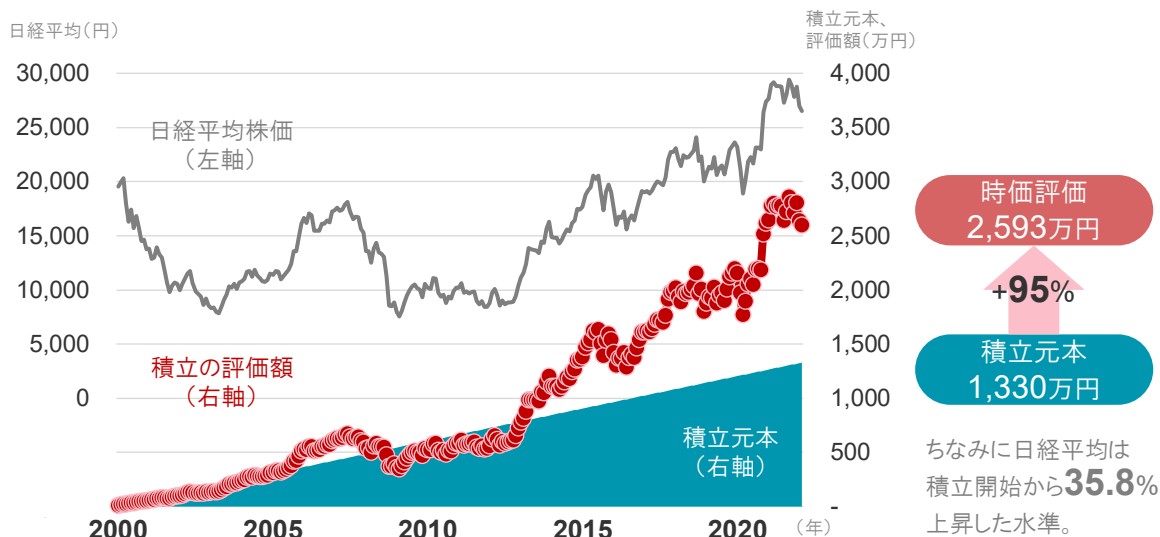
2022年
3月

約22年の積立の結果から分かること

下のグラフは、2000年の1月末から毎月5万円ずつ日経平均株価に積立を続けたと仮定した場合のシミュレーションです。日経平均は35.8%上昇しただけなのに、積立の時価は積立元本に対して、95%上昇しています。日経平均が1万円を割り込むような大きな下落時にも、減額せず・止めず続けたことが、その後の上昇時に花開いたことが分かります。

もちろん、投信積立は必ず利益が上がる魔法の仕組みではありません。それでも、たとえ、さまざまなニュースなどを受けてマーケットが混乱しているときであっても、「投信積立は下がっても嬉しい仕組み」、「上がるのは口数がしっかり溜まったずっと先で良い」と考え、続けることが投信積立における大事なポイントと言えそうです。

■ 日経平均株価に毎月末に5万円ずつ定額積立を行なった場合のシミュレーション



※期間:2000年1月末~2022年2月末※各月末の日経平均株価に定額積立をしたと仮定したシミュレーションです。税金・手数料等は考慮していません。
 ※資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。
 ※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
 ※データは過去のものであり、将来を約束するものではありません。



nikko am

コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。